



日伊協会の会員の皆さまへ

2012年4月12日

拝啓 陽春の候、会員の皆さまにおかれてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃の皆さまの日伊協会に対するご理解とご協力にあらためて感謝申し上げます次第です。

今日はく続日伊協会史 1994-2010年の歩み>をここにお送り申し上げます。

1993年にく日伊協会史 1940-1993年の歩み>が出版されてから20年近くが経ちました。この間に日伊関係は飛躍的な発展を見せ、日本におけるイタリア理解も格段に進みました。日伊協会はこのような状況の中で、会員の皆さまのご期待に応えるべくその活動の充実に努めて参りました。

そこで2010年に創立70周年を迎えました機会に、1994年以降の日伊協会の活動について前回の協会史の続編を編纂することといたしました。近年の公益法人改革の動きにも積極的に対応して、ご高承の通り2010年11月には日伊協会は公益財団法人の認定を受け、新しい組織に移行しております。これにより定款等が大幅に変更になりましたので、これらの基本文書も記録に含めることにいたしました。多くの関係者の方々の大変なご努力で続協会史がこのようにまとめられたことを嬉しく思います。会員の皆さまにおかれては、是非ご一読賜わり、日伊協会へのご理解を一層深めて頂くようお願い申し上げます。

日伊協会はイタリア語の普及、イタリア文化への理解を促進するためのイタリア語講座の開設、文化セミナーや講演会の開催等の活動を幅広く行う一方、スピーチコンテストの実施、日伊文化研究の刊行等の活動も地道に進めて参りました。また近年は会員の間での懇親交流を図るべく、イタリアの食文化、音楽文化を楽しむ様々な会合、郊外遠足、イタリア大使公邸におけるザッケローニ日本代表サッカーチーム監督を励ます会、イタリア文化会館における「春のフェスタ2012」の開催など多くの楽しい企画を試み、二国間の交流促進の組織としては際立った活動を行っているものと自負しております。

日本経済が低迷を続けていることもあって賛助法人企業からのご支援が伸び悩み、さまざまな理由からイタリア語講座の受講生の数も漸減しています。このような状況の下で、日伊協会は無駄な経費の徹底的な削減に努めており、漸く大幅赤字の体質から脱却し、収支の均衡に向けての曙光が見えるようになりました。しかしながら長い目で見ると、このような非営利の公益法人が今後も活発な活動を続けてゆくためには、イタリアを愛する個人とイタリアと関係の深い企業の方々による協会への積極的なご支援が不可欠でございます。会員の皆さまにおかれては、是非とも引き続き日伊協会への温かいご支援を賜わりますようお願い申し上げます。別途2012新年度へ向けての会員資格の更新、出来うれば会員資格のグレードアップのお願いを申し上げますが、事情ご賢察の上、倍旧のご支援を心からお願い申し上げます。

敬具

公益財団法人 日伊協会

会長 英 正道